

北海道脳卒中における急性期医療実態調査 報告書

～平成30年11月調査～

令和2年（2020年）8月

北海道保健医療協議会地域保健専門委員会
循環器疾患対策小委員会

はじめに

北海道医療計画では、患者数が多く、かつ死因の上位を占めるなどの理由から、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の5疾病について、医療機関相互の機能分担と連携を確保することにより、医療連携体制の構築を図り、地域の中で限られた医療資源を有効に活用しながら、切れ目のないサービスが提供される体制の構築を図ることとしています。

脳卒中・急性心筋梗塞においては、発症後速やかに専門的治療を開始する必要があることから、地域の急性期医療の状況を踏まえた上で方策を検討する必要があります。当委員会では、各医療機関の協力のもと、平成21年度から平成27年度にかけ「脳卒中・急性心筋梗塞の急性期医療実態調査」を実施し、脳卒中と急性心筋梗塞の発症から急性期医療までの時系列的な実態を把握するための調査を実施していたところです。

この度、脳卒中の超急性期において、地域の医療機関の体制を明らかにするため調査を実施し、結果を取りまとめましたのでご報告するとともに、今回の調査から得られた実態と課題が、今後、地域特性に基づく医療連携体制の構築の一助となることを期待しています。

令和2年（2020年）7月

北海道総合保健医療協議会地域保健専門委員会
循環器疾患対策小委員会委員長 寶金 清博

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
がん対策等担当課長 庄田 香織

目 次

はじめに

I 調査結果

1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	回収状況	1
4	調査結果	2
5	分析結果	10
6	考 察	10

II 関連資料

おわりに

